

日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (ヘッジなしコース)

運用報告書 (全体版)

第20期 (決算日 2016年5月17日) 第22期 (決算日 2016年7月19日) 第24期 (決算日 2016年9月20日)
第21期 (決算日 2016年6月17日) 第23期 (決算日 2016年8月17日) 第25期 (決算日 2016年10月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)」は、2016年10月17日に第25期の決算を行ないましたので、第20期から第25期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2014年9月19日から2020年10月19日までです。
運用方針	主として、世界の様々な資産を投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド」JPYアンヘッジド・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<654337>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落					
(設定日)	円								百万円
2014年9月19日	10,000		—		—		—		20
1期(2014年10月17日)	9,620		—	△	3.8	0.1	91.9		30
2期(2014年11月17日)	10,577		50		10.5	0.1	92.2		61
3期(2014年12月17日)	10,212		50	△	3.0	0.1	92.0		95
4期(2015年1月19日)	10,388		50		2.2	0.1	94.9		126
5期(2015年2月17日)	10,582		50		2.3	0.1	95.6		132
6期(2015年3月17日)	10,643		50		1.0	0.1	95.8		132
7期(2015年4月17日)	10,618		50		0.2	0.1	95.5		133
8期(2015年5月18日)	10,536		50	△	0.3	0.1	95.4		132
9期(2015年6月17日)	10,628		50		1.3	0.1	95.3		134
10期(2015年7月17日)	10,568		50	△	0.1	0.1	96.0		132
11期(2015年8月17日)	10,354		50	△	1.6	0.1	95.4		128
12期(2015年9月17日)	9,820		50	△	4.7	0.1	95.3		122
13期(2015年10月19日)	9,741		50	△	0.3	0.1	95.6		121
14期(2015年11月17日)	9,753		50		0.6	0.1	95.5		115
15期(2015年12月17日)	9,355		50	△	3.6	0.1	95.3		79
16期(2016年1月18日)	8,903		50	△	4.3	0.1	95.5		70
17期(2016年2月17日)	8,353		50	△	5.6	0.1	95.6		65
18期(2016年3月17日)	8,781		50		5.7	0.1	95.6		69
19期(2016年4月18日)	8,506		50	△	2.6	—	95.5		67
20期(2016年5月17日)	8,639		50		2.2	—	95.6		68
21期(2016年6月17日)	8,298		50	△	3.4	—	95.4		66
22期(2016年7月19日)	8,645		50		4.8	—	95.6		69
23期(2016年8月17日)	8,230		50	△	4.2	—	95.5		66
24期(2016年9月20日)	8,170		50	△	0.1	—	95.4		66
25期(2016年10月17日)	8,354		50		2.9	—	95.5		67

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
			騰 落	率				
第20期	(期 首) 2016年 4 月18日	円 8,506		% —		% —		% 95.5
	4 月末	8,829		3.8		—		95.4
	(期 末) 2016年 5 月17日	8,689		2.2		—		95.6
第21期	(期 首) 2016年 5 月17日	8,639		—		—		95.6
	5 月末	8,836		2.3		—		95.6
	(期 末) 2016年 6 月17日	8,348		△3.4		—		95.4
第22期	(期 首) 2016年 6 月17日	8,298		—		—		95.4
	6 月末	8,291		△0.1		—		95.5
	(期 末) 2016年 7 月19日	8,695		4.8		—		95.6
第23期	(期 首) 2016年 7 月19日	8,645		—		—		95.6
	7 月末	8,564		△0.9		—		95.5
	(期 末) 2016年 8 月17日	8,280		△4.2		—		95.5
第24期	(期 首) 2016年 8 月17日	8,230		—		—		95.5
	8 月末	8,396		2.0		—		95.3
	(期 末) 2016年 9 月20日	8,220		△0.1		—		95.4
第25期	(期 首) 2016年 9 月20日	8,170		—		—		95.4
	9 月末	8,245		0.9		—		95.6
	(期 末) 2016年10月17日	8,404		2.9		—		95.5

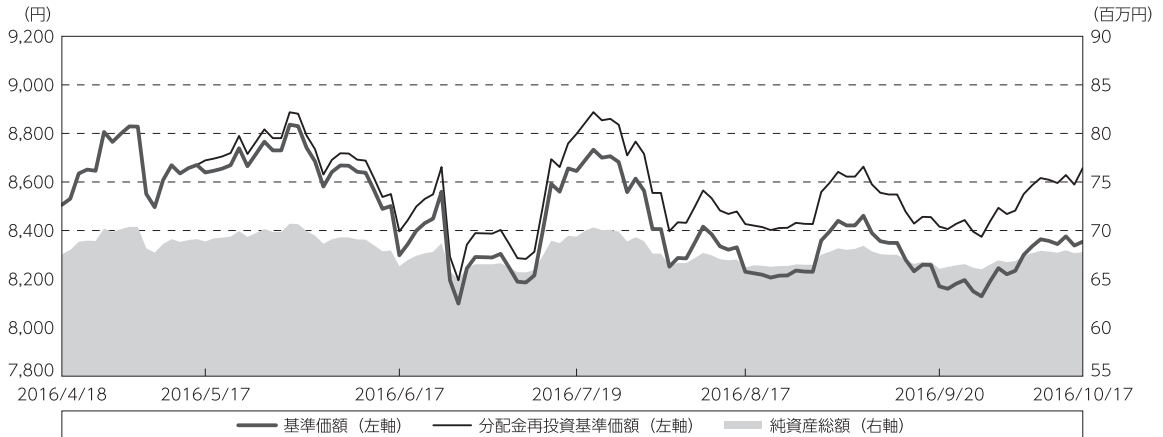
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2016年4月19日～2016年10月17日）

作成期間中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年4月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の変動要因

当ファンドは、世界の様々な資産を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・ 組入れ資産からインカム収入を得たこと。
- ・ 高利回り債券が値上がりしたこと。
- ・ 不動産等関連証券が値上がりしたこと。
- ・ 優先証券が値上がりしたこと。

＜値下がり要因＞

- ・ 円高／アメリカドル安が進行したこと。

投資環境

（高利回り債券市況）

高利回り債券市場は上昇しました。高利回り債券インデックスは2016年4月から9月まで6ヵ月連続でプラスを記録するなど、3月以降の好調を維持しました。日本や欧州の中央銀行による緩和的な金融政策や、米国の政策金利据え置きを映じた、世界的な低金利環境下での高利回り資産への投資ニーズの高まり、原油などの商品価格の底打ちを受けたエネルギー・資源企業の景況感改善、および過度の中国懸念の後退が背景に挙げられます。セクター別ではエネルギー・資源が、格付け別では低格付けが特に力強い上昇を記録し、高利回り債券市場全体の上昇を牽引しました。

（不動産等関連証券市況）

REIT市場は下落しました。期間の初めから2016年7月にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票を材料に一時的に調整する局面は見られたものの、世界的な低金利や、世界経済の緩やかな成長を裏付けとした不動産市況の堅調を映じて、REIT市場は上昇しました。期間の後半は米国金利が上昇に転じたことを嫌気してREIT市場は下落しました。国別では、国民投票がネガティブサプライズとなった英国が冴えませんでした。セクター別では、利益成長の鈍化により住宅、ホテル／リゾートが、英国とオーストラリアの不振を要因に商業施設が、それぞれ軟調でした。

期間中、MLP市場は上昇しました。原油、天然ガス市況の持ち直しによりMLP市場の底打ちが明確となりました。

（優先証券市況）

優先証券市場は上昇しました。他の高利回り資産と同様に、利回りニーズを求める投資資金の流入を映じて、優先証券市場も堅調な展開となりました。2016年6月の英国の国民投票結果判明直後には英国や欧州の銀行の優先証券が大幅に調整する局面もありましたが、市場は短期間で落ち着きを取り戻しました。9月には、米国での住宅ローン担保証券販売を巡り、米国司法省から巨額の制裁金支払いを要求されていると報じられたドイツ銀行への信用懸念が高まりましたが、他の銀行への影響は限定的でした。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.07%近辺から、日銀のマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.19%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.29%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド JPYアンヘッジド・クラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド JPYアンヘッジド・クラス）

相対的に高い利回りが期待できる3つの資産（高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等）に投資を行ないました。資産配分においては、高利回り債券55%、不動産等関連証券25%、優先証券等20%をめどとしました。各資産における運用経過は以下の通りです。

高利回り債券の運用においては、電子機器、情報通信、サービスセクターの投資比率を引き上げた一方、メディア、銀行、ヘルスケアセクターを引き下げました。信用力が高めの銘柄を中心としたポートフォリオ構成を維持しました。

不動産等関連証券の運用においては、REITとMLPの配分は概ね3対2としました。

REITでは、米国の組入比率を若干引き下げました。欧州では、EU離脱交渉を巡る不透明感を考慮し、英国の組入れを引き続き抑制しました。アジアでは、日本を引き下げる一方、オーストラリアとシンガポールのウェイトを引き上げました。セクター別では、高齢者用住宅市場が供給過剰になり始めている点を勧告し、ヘルスケアの組入比率を一段と縮小しました。

MLPでは、石油・天然ガス精製・販売セクターのウェイトを引き下げました。

優先証券の運用においては、発行体がコールを実施しない可能性やその場合の価格リスクについても注視しながら、クーポンの高い銘柄や（金利上昇に備えて）変動金利水準の高い銘柄を組み入れるなど、銘柄選択を通じて投資リターンを拡大をめざしました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
	2016年4月19日～ 2016年5月17日	2016年5月18日～ 2016年6月17日	2016年6月18日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月17日	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	50 0.575%	50 0.599%	50 0.575%	50 0.604%	50 0.608%	50 0.595%
当期の収益	50	48	50	48	47	50
当期の収益以外	—	1	—	1	2	—
翌期繰越分配対象額	572	570	576	575	573	579

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド JPYアンヘッジド・クラス」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド JPYアンヘッジド・クラス）

引き続き、原則として、3つの資産（高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等）に投資を行なう方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2016年4月19日～2016年10月17日)

項 目	第20期～第25期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(12)	(0.140)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(36)	(0.425)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.049	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(4)	(0.047)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	54	0.631	
作成期間の平均基準価額は、8,526円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月19日～2016年10月17日)

投資信託証券

銘 柄		第20期～第25期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円	
ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド JPYアンヘッジド・クラス	1,992	1,670	358	305	

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第20期～第25期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 2	千円 2	千口 2	千円 2

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月19日～2016年10月17日)

利害関係人との取引状況

<日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（ヘッジなしコース）>

区分	第20期～第25期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 1	百万円 1	% 100.0	百万円 0.30523	百万円 0.30523	% 100.0
金銭信託	1	1	100.0	1	1	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区分	第20期～第25期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 275	百万円 275	% 100.0	百万円 275	百万円 275	% 100.0

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2016年4月19日～2016年10月17日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2016年4月19日～2016年10月17日)

当作成期首残高 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	当作成期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 20	百万円 -	百万円 -	百万円 20	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2016年10月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第19期末		第25期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド	JPYアンヘッジド・クラス		76,172		77,806	64,735	95.5
合	計		76,172		77,806	64,735	95.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第19期末		第25期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド			70		69	70

(注) 親投資信託の2016年10月17日現在の受益権総口数は、484,514千口です。

○投資信託財産の構成

(2016年10月17日現在)

項 目	第25期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	64,735	94.7
マネー・アカウント・マザーファンド	70	0.1
コール・ローン等、その他	3,560	5.2
投資信託財産総額	68,365	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第20期末	第21期末	第22期末	第23期末	第24期末	第25期末
	2016年5月17日現在	2016年6月17日現在	2016年7月19日現在	2016年8月17日現在	2016年9月20日現在	2016年10月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	69,373,036	66,851,900	69,898,506	66,727,775	66,600,847	68,365,010
コール・ローン等	3,455,101	3,525,253	3,446,089	3,404,770	3,532,747	3,470,234
投資信託受益証券(評価額)	65,847,560	63,256,279	66,288,364	63,252,721	62,997,823	64,735,379
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	70,375	70,368	70,368	70,284	70,277	70,277
未収入金	—	—	93,685	—	—	89,120
(B) 負債	507,521	528,689	535,711	526,360	544,000	585,062
未払収益分配金	398,587	399,646	401,181	402,197	404,275	405,680
未払解約金	—	10,000	9,999	—	—	49,999
未払信託報酬	63,994	68,529	68,470	63,016	72,651	57,695
未払利息	6	3	3	3	3	3
その他未払費用	44,934	50,511	56,058	61,144	67,071	71,685
(C) 純資産総額(A-B)	68,865,515	66,323,211	69,362,795	66,201,415	66,056,847	67,779,948
元本	79,717,531	79,929,264	80,236,349	80,439,519	80,855,102	81,136,198
次期繰越損益金	△10,852,016	△13,606,053	△10,873,554	△14,238,104	△14,798,255	△13,356,250
(D) 受益権総口数	79,717,531口	79,929,264口	80,236,349口	80,439,519口	80,855,102口	81,136,198口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,639円	8,298円	8,645円	8,230円	8,170円	8,354円

(注) 当ファンドの第20期首元本額は79,410,045円、第20～25期中追加設定元本額は2,019,084円、第20～25期中一部解約元本額は292,931円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第20期0.8639円、第21期0.8298円、第22期0.8645円、第23期0.8230円、第24期0.8170円、第25期0.8354円です。

(注) 2016年10月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は13,356,250円です。

○損益の状況

項 目	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
	2016年4月19日～ 2016年5月17日	2016年5月18日～ 2016年6月17日	2016年6月18日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月17日	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	456,854	459,528	461,914	462,143	463,292	467,131
受取配当金	457,034	459,639	462,004	462,220	463,390	467,196
受取利息	—	5	1	—	—	—
支払利息	△ 180	△ 116	△ 91	△ 77	△ 98	△ 65
(B) 有価証券売買損益	1,067,086	△ 2,710,884	2,798,340	△ 3,328,801	△ 468,976	1,494,455
売買益	1,067,086	939	2,798,682	411	—	1,495,157
売買損	—	△ 2,711,823	△ 342	△ 3,329,212	△ 468,976	△ 702
(C) 信託報酬等	△ 69,459	△ 74,396	△ 74,319	△ 68,399	△ 78,854	△ 62,623
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,454,481	△ 2,325,752	3,185,935	△ 2,935,057	△ 84,538	1,898,963
(E) 前期繰越損益金	△ 14,673,247	△ 13,601,389	△ 16,324,419	△ 13,521,856	△ 16,854,080	△ 17,329,984
(F) 追加信託差損益金	2,765,337	2,720,734	2,666,111	2,621,006	2,544,638	2,480,451
(配当等相当額)	(2,859,661)	(2,873,758)	(2,891,526)	(2,905,504)	(2,930,554)	(2,947,939)
(売買損益相当額)	(△ 94,324)	(△ 153,024)	(△ 225,415)	(△ 284,498)	(△ 385,916)	(△ 467,488)
(G) 計 (D + E + F)	△ 10,453,429	△ 13,206,407	△ 10,472,373	△ 13,835,997	△ 14,393,980	△ 12,950,570
(H) 収益分配金	△ 398,587	△ 399,646	△ 401,181	△ 402,197	△ 404,275	△ 405,680
次期繰越損益金 (G + H)	△ 10,852,016	△ 13,606,053	△ 10,873,554	△ 14,238,104	△ 14,798,255	△ 13,356,250
追加信託差損益金	2,765,337	2,720,734	2,666,111	2,621,006	2,544,638	2,480,451
(配当等相当額)	(2,859,661)	(2,873,758)	(2,891,526)	(2,905,504)	(2,930,554)	(2,947,939)
(売買損益相当額)	(△ 94,324)	(△ 153,024)	(△ 225,415)	(△ 284,498)	(△ 385,916)	(△ 467,488)
分配準備積立金	1,703,881	1,687,566	1,737,535	1,727,058	1,706,746	1,752,101
繰越損益金	△ 15,321,234	△ 18,014,353	△ 15,277,200	△ 18,586,168	△ 19,049,639	△ 17,588,802

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年4月19日～2016年10月17日)は以下の通りです。

項 目	2016年4月19日～ 2016年5月17日	2016年5月18日～ 2016年6月17日	2016年6月18日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月17日	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	436,029円	385,132円	451,383円	393,744円	384,438円	452,220円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,859,661円	2,873,758円	2,891,526円	2,905,504円	2,930,554円	2,947,939円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,666,439円	1,702,080円	1,687,333円	1,735,511円	1,726,583円	1,705,561円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,962,129円	4,960,970円	5,030,242円	5,034,759円	5,041,575円	5,105,720円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	622円	620円	626円	625円	623円	629円
g. 分配金	398,587円	399,646円	401,181円	402,197円	404,275円	405,680円
h. 分配金(1万円当たり)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
1 万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	50円	50円

○お知らせ

約款変更について

2016年4月19日から2016年10月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド JPYアンヘッジド・クラス
	ケイマン籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	信託財産の成長および毎月分配を行なうことを目標に積極的な運用を行いません。
主な投資対象	世界各国の高利回り証券(高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等)を投資対象とします。
投資方針	・運用にあたっては、世界各国の高利回り証券(高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等)を主な投資対象とし、信託財産の成長および毎月分配を行なうことを目標に積極的な運用を行いません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産総額の50%以上を有価証券に投資します。 ・投資信託証券など(ETFとREITを除きます。)への投資割合は純資産総額の5%を超えないものとします。 ・不動産連動社債への投資割合は純資産総額の10%を超えないものとします。 ・仕組債やカバードワラントなどの仕組証券(不動産連動社債を除きます。)への投資割合は純資産総額の15%を超えないものとします。 ・流動性に欠ける資産への投資割合は純資産総額の15%を超えないものとします。 ・純資産総額の10%を超える借入れは行ないません。
収益分配	原則として、毎月第2営業日に分配を行いません。なお、投資顧問会社の判断により収益分配を行わないことがあります。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.861%(国内における消費税等相当額はかかりません。) ※この他に、固定報酬として年額5,000米ドルがかかります。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	解約時の基準価額に対し0.3%(1口当たり)
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント
副投資顧問会社	クレディ・スイスAG スペクトラム・アセット・マネジメント・インク J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・インク
管理会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント
信託期間	2157年10月21日まで
決算日	原則として、毎年10月31日

◆財政状態計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年10月31日現在
 (日本円で表示)
 2015年
 千円

資産	
流動資産	
現金および現金同等物	880,037
損益を通じて公正価値評価される金融資産	10,569,502
未収利息	126,384
未収配当金	15,245
ブローカーからの未収金	258,363
資産合計	11,849,531
負債	
流動負債	
損益を通じて公正価値評価される金融負債	52,674
ブローカーに対する未払金	37,162
未払費用およびその他未払金	21,354
負債合計 (受益者に帰属する純資産を除く)	111,190
受益者に帰属する純資産	11,738,341
受益証券残高数合計	
クラスA	49,254,547,305
クラスB	3,770,496,460
クラスC	119,168,316
クラスD	112,414,652
受益証券1口当たり純資産価額	
クラスA	¥ 0.1827
クラスB	¥ 0.6693
クラスC	¥ 0.9885
クラスD	¥ 0.8727

◆包括利益計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年10月31日に
終了した会計期間
(日本円で表示)
千円

受取利息	673,675
受取配当金	321,697
損益を通じて公正価値評価される金融資産に係る純利益（損失）	(3,365,474)
純為替差益	93,020
雑収益	10,313
（損失）／利益合計	(2,266,769)
運用報酬	(119,968)
管理、名義書換代理人、カストディアン報酬	(16,464)
ライセンス料	(12,132)
監査費用	(8,400)
法律顧問費用	(998)
受託者報酬	(659)
銀行手数料	(54)
支払利息	—
財務書類作成費用	(2,437)
その他	(1,291)
運用費用合計	(162,403)
運用による税引前（損失）／利益	(2,429,172)
源泉徴収税	(56,496)
受益者に対する分配金	(4,879,627)
当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計	(7,365,295)

◆受益者に帰属する純資産の変動計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年10月31日に
終了した会計期間
(日本円で表示)
千円

2014年11月1日現在残高	22,002,563
受益者との取引	
受益証券の申込み	
－クラスA	1,136,580
－クラスB	210,482
－クラスC	93,340
－クラスD	24,176
	1,464,578
受益証券の買戻し	
－クラスA	(3,167,745)
－クラスB	(1,173,617)
－クラスC	(14,022)
－クラスD	(8,121)
	(4,363,505)
受益者との取引合計	(2,898,927)
当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計	(7,365,295)
2015年10月31日現在残高	11,738,341

◆キャッシュ・フロー計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年10月31日に
終了した会計期間
(日本円で表示)
千円

運用活動

当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計調整額：	(7,365,295)
受取利息	(673,675)
受取配当金	(321,697)
源泉徴収税	56,496
受益者に対する分配金	4,879,627
運転資本変更前営業損失	(3,424,544)

損益を通じて公正価値評価される金融資産の増減額	10,479,227
ブローカーからの未収金の減少額	41,468
損益を通じて公正価値評価される金融負債の増減額	(762,421)
ブローカーに対する未払金の減少額	(291,901)
未払費用およびその他未払金の減少額	(6,327)
利息受領額	788,893
配当金受領額	333,618
源泉徴収税支払額	(56,496)
運用活動から生じた現金純額	7,101,517

財務活動

受益証券申込みに係る手取金	1,527,289
受益証券買戻しに係る支払金	(4,407,398)
受益者に対する分配金	(4,879,627)
財務活動で使用した現金純額	(7,759,736)

現金および現金同等物の純減少額	(658,219)
------------------------	-------------------

2014年11月1日現在の現金および現金同等物の残高	1,538,256
----------------------------	-----------

2015年10月31日現在の現金および現金同等物の残高	880,037
-----------------------------	---------

◆損益を通じて公正価値評価される金融資産および金融負債

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年
千円

売買目的保有資産：

非デリバティブ金融商品（上場）：

－ 株式	2,035,516
－ 不動産投資信託（REIT）	1,667,426
－ 投資ファンド	42,635
	<u>3,745,577</u>

デリバティブ金融商品（非上場）：

－ トータル・リターン・スワップ	267
	<u>267</u>

損益を通じて公正価値評価される金融資産：

非デリバティブ金融商品（非上場）：

－ 債券	6,683,931
－ ローン	139,727
	<u>6,823,658</u>
	<u>10,569,502</u>

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2016年10月12日）
（2015年10月14日～2016年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
3期(2012年10月12日)	円	10,027	0.1	78.6	699	百万円
4期(2013年10月15日)		10,035	0.1	88.6	778	
5期(2014年10月14日)		10,042	0.1	60.8	707	
6期(2015年10月13日)		10,043	0.0	62.9	620	
7期(2016年10月12日)		10,042	△0.0	—	483	

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2015年10月13日	円	10,043	—	62.9	%
10月末		10,044	0.0	67.6	
11月末		10,044	0.0	63.3	
12月末		10,044	0.0	65.3	
2016年1月末		10,044	0.0	65.7	
2月末		10,044	0.0	72.8	
3月末		10,044	0.0	67.6	
4月末		10,044	0.0	—	
5月末		10,043	0.0	—	
6月末		10,043	0.0	—	
7月末		10,043	0.0	—	
8月末		10,043	0.0	—	
9月末		10,042	△0.0	—	
(期 末) 2016年10月12日		10,042	△0.0	—	

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2015年10月14日～2016年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,043円の基準価額は、期間末に10,042円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・利息収入などを得たこと。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年2月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。2月後半以降は、日銀によるマイナス金利の導入開始などを受けて低下し、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けて低下が進み、-0.31%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

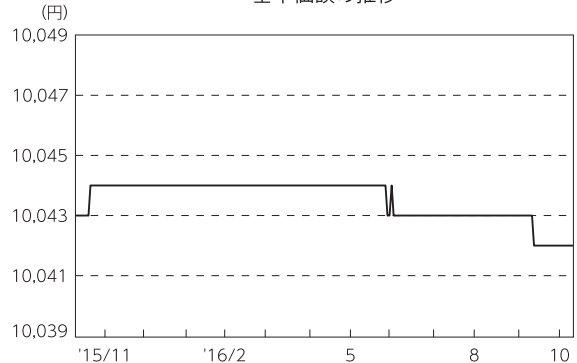
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2015/10/13	2015/10/22	2016/09/12	2016/10/12
10,043円	10,044円	10,042円	10,042円

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,043円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 3,051,625	千円 2,311,628 (1,130,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 債券現先を含めています。

○ 利害関係人との取引状況等

(2015年10月14日～2016年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○組入資産の明細

(2016年10月12日現在)

2016年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2016年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	484,532	100.0
投資信託財産総額	484,532	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			484,532,285
(B) 負債				
	未払解約金			484,532,285
	未払利息			1,508,661
(C) 純資産総額(A-B)				1,508,236
	元本			425
	次期繰越損益金			480,993,642
(D) 受益権総口数				2,029,982
	1万円当たり基準価額(C/D)			480,993,642口
				10,042円

(注) 当ファンドの期首元本額は617,609,609円、期中追加設定元本額は297,706,739円、期中一部解約元本額は434,322,706円です。

(注) 2016年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・資源株ファンド通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> (毎月分配型)	61,656,805円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	766,040円
・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	60,490,846円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	748,136円
・エマージング・プラス (マネーボールファンド)	41,242,762円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	723,698円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	39,127,773円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ブラジルリアルコース	709,751円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	37,663,662円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり (適格機関投資家向け)	593,798円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	36,556,016円	・アジア・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	525,717円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (マネーボールファンド)	36,148,905円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型)	443,169円
・世界標準債券ファンド	26,395,547円	・世界のサイフ2 (毎月分配型)	401,193円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	26,144,472円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	352,186円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	17,125,049円	・アジアインフラ株ファンド (毎月分配型) インドネシア・コース	338,114円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	15,873,379円	・アジアインフラ株ファンド (毎月分配型) インドネシア・コース	239,584円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし	11,068,946円	・ノーロード・インド株式フォークス (毎月分配型)	113,740円
・グリーン世銀債ファンド	6,903,139円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) 資源国通貨コース	105,748円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)	6,735,212円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジあり	102,030円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマージング)	99,902円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアル・コース> (毎月分配型)	5,941,746円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) オーストラリアドルコース	83,734円
・エマージング・プラス・円戦略コース	4,291,213円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり)	70,452円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型)	3,565,140円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (ヘッジなしコース)	69,984円
・インデックスファンドMLP (1年決算型)	3,231,725円	・オーストラリア・インカム株式ファンド (毎月分配型)	67,920円
・高金利成長通貨ファンド (毎月分配型)	2,827,219円	・世界の高配当株式ファンド (通貨選択シリーズ・毎月分配型) ヘッジなしコース	60,028円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	2,818,206円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (通貨プレミアムコース)	45,596円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	2,514,471円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし)	40,174円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	2,455,213円	・アジア債券ファンド (毎月分配型)	38,161円
・グローバルC o C o 債ファンド 円ヘッジコース	1,967,243円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジなし	34,825円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,490,881円	・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・グローバルC o C o 債ファンド 新興国高金利通貨コース	1,471,114円	・上場インデックスファンドNifty50先物 (インド株式)	19,983円
・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	1,455,837円	・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500)	19,983円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (円ヘッジコース)	1,425,937円	・上場インデックスファンド中国H株 (ハンセン中国企業株)	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,370,174円	・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,360,527円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (1年決算型) 為替ヘッジなし	16,862円
・グローバルC o C o 債ファンド 先進国高金利通貨コース	1,072,272円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	13,682円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,069,770円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォークス (毎月分配型)	12,516円
・アジアインフラ株ファンド (毎月分配型) ブラジルリアル・コース	1,062,142円	・上場インデックスファンド新興国債券 (パークレイズLocal EM国債)	9,981円
・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	998,560円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり)	9,958円
・グローバルC o C o 債ファンド ヘッジなしコース	921,896円	・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし)	9,958円
・日興GSグローバル・マーケッツ・ファンド	840,733円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン (毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,287円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	779,930円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0042円です。

○損益の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益	△	53,652
	受取利息		48,057
	支払利息		△ 101,709
(B)	有価証券売買損益		244
	売買益		244
(C)	保管費用等	△	2,013
(D)	当期損益金 (A + B + C)	△	55,421
(E)	前期繰越損益金		2,682,400
(F)	追加信託差損益金		1,297,094
(G)	解約差損益金	△	1,894,091
(H)	計 (D + E + F + G)		2,029,982
	次期繰越損益金 (H)		2,029,982

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2015年10月14日から2016年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。